

発行 稲城市
編集 秘書広報課広報広聴係
住所 〒206-8601 稲城市東長沼2111
電話 042-378-2111
FAX 042-377-4781
開庁時間 午前8時30分～午後5時



© K.Okawara・Jet Inoue

緑につつまれ友愛に満ちた
市民のまち稲城

人口と世帯数

	令和7年3月1日現在	(前月比)
人口	93,884人	(7人減)
男	46,871人	(3人減)
女	47,013人	(4人減)
世帯数	43,265世帯	(3世帯減)

※人口及び世帯数は、住民基本台帳によるものです。

最新情報は市Webをチェック!

稲城市

検索

QRコード ◀メール配信サービスの登録
左記または「t-inagi@sg-p.jp」に
空メールを送信してください。

「みんなでつくる笑顔と未来」をめざして

広報いなぎの配布方法 広報いなぎはポストインにより、世帯に1部配布しています。それに伴い、発行日の3日ほど前から配布を始めています。図書館広報課広報広聴係



令和7年第1回市議会定例会の本会議の冒頭、高橋市長が施政方針を述べました。ここではその一部をお伝えします。
全文は市Web(右記参照)よりご覧ください。なお、令和7年度予算の概要は広報いなぎ4月15日号で紹介します。

企画政策課企画政策係



令和7年度施政方針(概要)

歳入においては、明るい材料が見えつつも、世界情勢や景気、物価動向の影響を受けやすく、また歳出においては、資源価格や原材料価格の高騰、労務費の上昇等の要因により、各種事業費が大きな影響を受けることが想定されます。本市ではこれまでも、厳しい財源確保の状況が続いた中で、職員配置の適正化、業務改善等を行いながら、着実に計画事業を推進し、成果を挙げてきたところですが、これまで以上に特定財源の確保に努め、社会情勢の変化や多様化する市民ニーズに対し、的確に対応していく必要があります。

令和7年度は、これまで取り組んできた施策の課題や成果、事業の有効性や妥当性を根本に立ち返って検証し、人材を含めた限りの資源の効果的な活用を図ることはもとより、デジタル技術等を活用し、市民の利便性を向上させると共に、更なる業務効率化を図ることが求められます。

そして、5年目を迎える第五次稲城市長期総合計画の着実な推進を図りつつ、令和8年度以降の後期5力年にバトンをつなげていくための礎となるよう、一丸となって取り組んでいかなければなりません。

以上のことを踏まえ、次のことを基本として取り組んでまいります。

○将来を見据えた健全な財政を維持しながら、第五次稲城市長期総合計画基本構想に掲げる将来都市像の実現に向け、基本計画に定める各種施策の取り組みを進め、持続可能な行財政運営に努める

○物価上昇等の動向や社会情勢の変化を的確に捉え、多様化するニーズにおける課題に対して、機動的に取り組む

○発生の危機が高まる首都直下型地震や南海トラフ巨大地震、また各地で頻発する豪雨災害等の脅威から市民を守るため、安全・安心の確保を最優先に、引き続き、防災・減災対策に計画的に取り組む